

これからの富士宮を創る広報誌

So good!!

創宮

- ついにオープン!城山公園
野球場
- 長屋門が国の登録有形文化財に
- 清掃センター 民間事業者と
協定を締結
- 若者のチャレンジ チリンが
2周年
- 富士宮のお茶が名誉ある皇室
献上茶に!

So good! vol.51



8月19日、城山公園野球場の完成を記念して、オープニングセレモニーを開催しました。セレモニー後には、さっそく少年野球チームが練習を行い、新たに生まれ変わった野球場に歓声が響き渡りました。

ついにオープン！ 城山公園野球場

令和6年度から整備を進めてきた城山公園の野球場がついにオープンしました。
8月19日には関係者や少年野球の選手を招いてオープニングセレモニーを行い、
新たな野球場の誕生をお祝いしました。



▲関係者によるテープカット



▲須藤市長による始球式



▲新しい野球場でさっそくランニング



▲キャッチボールにも力が入ります



「長屋門」の愛称で知られる旧川成島陣屋長屋門が、国の登録有形文化財に登録されることになりました。

長屋門は、安政4年に現在の新富士駅南口付近に陣屋の門として建造されました。その後、昭和15年頃に長屋門を含めたこの陣屋の大部分が取り壊されることとなります。しかし、これを惜しんだ市内で料亭「高しま家」を営んでいた遠藤家が、長屋門を譲り受け、料亭の門として現在の場所に移築します。

やがて、料亭は閉鎖されますが、平成15年に市が土地と建物を買取り、江戸時代の文化を現代に伝える歴史的建造物として、大切に管理しています。



▲武家屋敷の雰囲気が残る外観



▲長屋門内部

富士宮市の歴史的建造物が高く評価される 長屋門が国の登録有形文化財に



江戸時代の武家屋敷の空気を現代に伝える長屋門

国の登録有形文化財とは

歴史的価値の高い建造物などを「活用しながら保存」するため、平成8年に創設された国の制度です。

現在、長屋門は、民間事業者が運営するカフェ・レストラン「たこまん」の門として活用されています。



▲「たこまん」の店内

他の国登録有形文化財

市内には、宮町にある「吉澤家住宅煉瓦蔵^{れんが}」が平成27年に国登録有形文化財に指定されています。明治時代に煉瓦造りの蔵が多く建てられましたが、現在ではそのほとんどが失われているため、非常に貴重な文化財です。



▲煉瓦蔵の外観

清掃センター 民間事業者と 協定を締結



市内で発生するごみは、山宮にある清掃センターで処理を行っています。

市では、清掃センターの修繕、停電、火災、大規模災害などにより清掃センターでの処理が困難となった場合に備え、民間事業者と緊急時におけるごみ処理に関する協定を締結し、迅速かつ安定したごみ処理体制を確保しています。

株式会社エコネコルと不燃ごみ処理に関する協定を締結



▲協定書を手に、笑顔で握手



▲あいさつをする佐野文勝代表取締役社長

■株式会社エコネコル

市内本社のほか、北海道や長野県にも拠点を持つリサイクル事業者です。

所 山宮3507-19
☎ 58-5800



株式会社ミダックと可燃ごみ処理に関する協定を締結



▲滞りなく協定が結ばれる



▲加藤恵子代表取締役社長と意見交換

■株式会社 ミダック

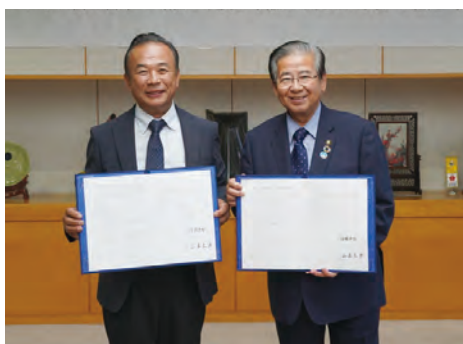
浜松市に本社を置き、「地球に優しい廃棄物処理」を追求する会社です。

所 浜松市中央区
有玉南町2163

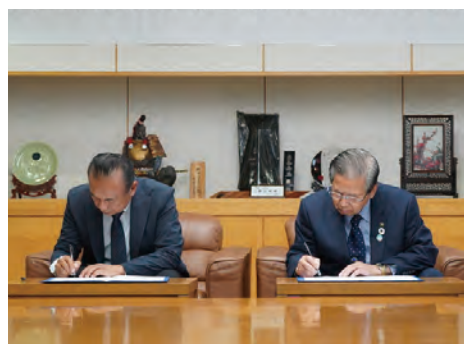
☎ 053-471-9364



株式会社ヤマモトと可燃・不燃ごみ処理に関する協定を締結



▲山本文洋代表取締役と須藤市長



▲協定書への署名

■株式会社 ヤマモト

市内に7つもの工場・プラントを有する廃棄物処理業者です。

所 山宮2344
☎ 58-1780

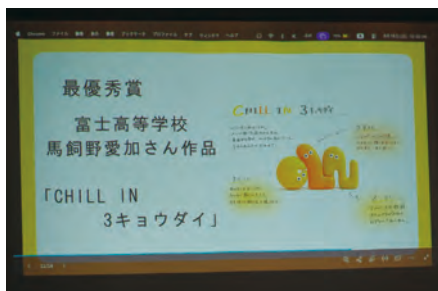


若者のチャレンジ チリンが2周年



市内外の若者の挑戦を支援する施設「エキマエチャレンジハウス チリン」が8月に2周年を迎え、市内で活動する地域おこし協力隊が集結し、様々なイベントを開催しました。地域おこし協力隊や高校生たちが、新しい風を富士宮市に呼び込んでいます。

チリンのマスコットキャラクターを若者と創りあげる



川上敦也隊員は、チリンのマスコットキャラクターを若者世代から募集。最優秀賞の「CHILL IN 3キョウダイ」を今後はチラシやロゴマークなどで活用し、若者がさらに集まりやすいチリンにしていきたいと語りました。

地元産の「富士ヒノキ」をもっと身近に感じてもらう



青木芽以隊員は「木に触れる機会が増え、木が生活の一部になって欲しい」との思いから、富士ヒノキ製のスプーン作りの講座を開催。来場者は富士ヒノキを彫刻刀で削り、木材の手触りや香りを楽しみました。

他人との違いを面白がり、新しいことに挑戦する



高木陽介隊員は人とは異なる「変」の大切さを伝える「ヘンボジウム」を開催。4人の登壇者が、他人との違いを楽しみ、面白がることの必要性や大切さを軽快に語りました。

高校生たちもまちづくりにチャレンジ中!



富士宮西高校の生徒は、日本人も外国人も住みやすいまちづくりのため、訪れた人にアンケート調査を実施。集まった意見をもとに、自分たちができるまちづくりをさらに探究していきます。

富士宮のお茶が名誉ある 皇室献上茶に！



美しく広がる茶畑と富士山

富士宮市は、富士山からの恵みである豊かな水と良質な土壌に恵まれ、お茶の栽培に適したまちです。富士根・高原地区を中心に見事な茶畑が広がり、品質の良いお茶が生産されています。県内で生産されたお茶を皇室に献上する第68回献上茶謹製事業で、令和8年度は、ヤマジユウ円山園松田製茶工場(杉田)と堂ヶ谷戸製茶工場(西小泉町)の2つの茶園が皇室にお茶を献上しました。



▲皇室に献上された富士宮産のお茶



▲手作業でお茶を収穫



▲手揉みにより丁寧に製茶された献上茶



▲浅間大社で謹製事業の成功を祈念する関係者



▲献上茶を市に贈呈していただきました